



永平寺町

# 議会だより

第33号

平成26年1月24日発行



企業組合

「若鮎グループ加工部」  
(※ 最終ページに紹介記事)



道の駅夢と活力を求めて ②ページ

(旧松岡町役場)

織物会館が解体されるが ②～③ページ

そこが聞きたい! (議員15人が一般質問) ⑨ページ

議会と語ろう会 町民からの質問・要望等への回答 ⑳ページ

永平寺町議会  
facebook



永平寺町議会

検索

<http://www.eiheiji-gikai.jp>



# 織物会館(旧松岡町役場)が解体されるが...



県は平成24年度に県内の各市町にオンのふるさとづくりを図るため、地域資源を支援する「ふるさと創造プロジェクト」永平寺町のプロジェクトは、松岡神明3丁目舎(現織物会館)を解体し、その跡地と隣岡営業所跡地)を利用し、地域活動やまちというものです。

また、屋外でのイベントらも意識し、広また、旧松岡藩ゆかりの名所を巡るルートを作成するとしています。もう一つは平成5年三百年大祭を再現しようというねらいもあ画を、今後1年ほどかけて策定します。何とはまちがいありませんが、設計図などのソフト面でもまだ県との間で未調整な部分

リーワン・ナンバーワンを生かしたまちづくりを立ち上げました。永にある旧松岡町役場庁の土地(旧北陸電力松おこしの拠点にしよう場も設置します。また設定し、回遊魅力を形に行われた御像さんのります。そのための計らかの建物を建てるこ青写真はこれからで、がありますので、議会

にも最終的な説明とはなっていない。ただ、現在の建物の所有者である松岡織物協同組合とすでに折衝に入っており、議会も大きな関心を持っているところです。

住民の間では、期待する向きもあると同時に、歴史を生きてきた旧松岡町役場の解体を惜しむ声も小さくはありません。この建物は昭和3年に建てられたもので、寄せ棟造り木造2階建て。各階の天井を高くとった風格を漂わす造り。広々と空間が広がる2階は、間仕切りも柱もないワンフロア。天井は格子状に区切られ、しっくい白色と板張りの茶色がモダンな柄を描いています。当時を知っている方々には、やはり解体は忍びがたいようです。東古市のレンガ館は約6000万円をかけて残しますが、もう一つの松岡の歴史的建造物、あなたならどうしますか？

(松川 記)



本町の「道の駅」は道路管理者である県が駐車場・トイレ及び道路情報や観光情報を発信する施設を整備し、町は特産品の販売や体験等を行なうための地域振興施設を整備します。整備面積は、約2,300㎡(696坪)の計画となっています。

計画地は、「道の駅」の空白地帯であることや交通量が多いこと、また、「永平寺温泉禅の里」との相乗効果も期待されることから、立地的に最適な場所であると考えられ、地元特産品の販売や周辺観光資源の情報発信による上志比地区の地域活性化に寄与するものと考えています。

(川治 記)

## 道の駅 夢と活力を求めて

本町では、「永平寺温泉禅の里」の東隣に「道の駅」を計画し、平成27年度中の開業を目標に事業を推進しています。

「道の駅」は、道路利用者の利便性向上による安全で快適な道路交通環境の整備と、地域振興への寄与を目的とする施設です。



永平寺町議会議長

伊藤 博夫

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、希望に満ちた新しい年をお迎えになられ、町議会を代表して心からお喜び申し上げます。

旧年中は心温まるご支援、ご協力を頂き厚くお礼申し上げます。新年を迎えるにあたり、昨年、「議会基本条例」が制定され、「開かれた議会」「行動する議会」「提案する議会」を基本として議会だよりやホームページ、そしてフェイスブックにより「町民への説明責任」を果たす目的で取り組みをしたところ全国の自治体に注目して頂き、本町の議会改革は「素晴らしい」と絶賛を受け全国各地から視察研修に訪れて頂いているところであります。

本町の議会は、監視能力の使命を果たすとともに、議員自らが本会議や各委員会の出欠表を議会だよりに公表し、今年の7月末の任期を全うし新たな議員に引き継ぐまで町民に信頼される議会として、なお一層議会改革に取り組んでまいり所存でございます。

町民の皆様におかれましては、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、新しいこの年が皆様にとって、素晴らしい年になりますよう、ご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。新年のあいさつと致します。



# 議案への賛否討論

## 議案第40号 平成25年度 一般会計補正予算について

**反対**

金元 直栄

永平寺開発センターの耐震補強工事は、この工事費約2億円と消防庁舎建設費約7億円を考えると、支所周辺の土地利用の点でも、耐震補強せず、同センターを取り壊し、新消防庁舎を支所に並べて建てるべきだ。よってこの案には反対する。



開発センター

**賛成**

原田 武紀

永平寺開発センター耐震補強工事の予算に反対とのことだが、この件は昨年12月の「消防署統合推進特別委員会」で、「新消防庁舎は、開発センターの一部を活用、センターに隣接して新築する」に多数決で民主的に、決定され、既に、耐震補強の実施設計も予算承認のうえ施工されている。議会の決定を自ら覆すような意見は容認できない。

**反対**

松川 正樹

永平寺口駅前広場の整備は、レンガ館の修復を含めて投資効果が見込めない。過剰投資となる。同時に東古市地区そのものを再開発しなければ！  
もう一つ、開発センターの耐震工事そのものには反対ではないが、将来、開発センターをL字型に囲んで建てる新消防庁舎は、寿命の短い開発センターが取り壊された後、どうするか。問題が大きすぎる。

## 議案第48号 農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について

## 議案第51号 下水道条例の一部を改正する条例の制定について

## 議案第54号 給水条例の一部を改正する条例の制定について

**反対**

金元 直栄

来春4月からの消費税増税に合わせ、上水道や下水道料金をこれまでの内税方式から、外税とするもので、これだと税が引き上げられても、議会にかかることなく料金が引き上げられる。このやり方には反対だ。

**賛成**

小畑 傅

国の財政事情から、消費税5%から8%への移行を拒むものではない。いずれも消費税率改正と地方税法改正に伴う改正であり賛成とする。

### 議案への賛否一覧 議席順に掲載 (○賛成 ×反対 一欠席 □退席) ※議長(伊藤博夫)は採決に加わりません

	小畑	滝波	金元	齋藤	長岡	原田	川治	川崎	多田	上坂	長谷川	松川	渡邊	上田	酒井
議案第40号	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
議案第48号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等20件については全員賛成です。

## 平成25年 第6回臨時議会報告

平成25年第6回永平寺町議会臨時会は、11月11日(月)に開催されました。審議された内容は、次のとおりです。議長 伊藤 博夫

### 第6回臨時議会議案

承認第7号 平成25年度一般会計補正予算の専決処分の承認	承認	議案第31号 平成24年度一般会計及び特別会計の決算認定	認定
承認第8号 損害賠償の額を定めることの専決処分の承認	承認	議案第32号 平成24年度上水道事業会計の決算認定	認定
		発委第1号 議会評価意見書の提出	可決

## 予算決算常任委員会審査報告

委員長 滝波 登喜男

### 平成24年度 決算を認定 議会の意見 9項目を付して

当委員会に付託された平成24年度一般会計、特別会計、上水道事業会計の決算認定については、9月24日から6日間にわたり審査し、9項目の意見を付して原案のとおり認定した。議会の意見は、①自主防災組織連絡協議会は、単位組織の活性化に積極的に取り組むこと。②近年動きのない基金は、その目的等を精査し有効活用を図ること。③税の滞納状況を示し、自主納付・分納など滞納解消に努めること。④保育士の正規・非正規の割合が目標に達するよう計画を示すこと。⑤古墳からの貴重な出土品を町民に知っていただくよう努めること。⑥国や県からの補助を求める農業者に、れんげ米作付けを義務化することを見直すこと。⑦こしの国ケーブルの機器更新に備え、内部留保金を貯えること。⑧下水道の管路の耐震対策を早急に計画・立案すること。⑨上水道企業会計の健全経営構築のための方向性や計画を早く示すこと。

### 議会評価 意見書を 行政に提出 議員自らが 評価シート作成

今回初めて、議員による事務事業評価を行った。まず、18の事業を抽出し、評価シートに基づき行政からの説明を聞き、その後議員全員が評価シートを作成、取りまとめを行った。その結果、18事業のうち総合評価A(計画どおり事業を進める)は行政が15事業であったのに対し、議会は11事業。B(事業の進め方等に改善が必要)は、行政が3、議会在4。C(事業の統合、規定、内容、実施主体の見直しが必要)は、行政が0であったのに対し、議会は3であった。このことは、事業の実施主体である行政の評価と議会(町民)の評価が違うことが明らかになった。  
評価Cは、放課後児童クラブ事業、学校教室エア一搬送ファン設置事業、農商工ブランド発信協議会補助事業でこれらの評価をもとに、議会評価意見書を作成し、初めて行政に提出した。

## 平成25年 第7回 定例議会報告

平成25年第7回永平寺町議会定例会は、12月3日(火)～17日(火)まで15日間開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

議長 伊藤 博夫

### 第7回定例議会議案

議案第40号 平成25年度一般会計補正予算	可決	議案第50号 特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第41号 平成25年度国民健康保険事業特別会計補正予算	可決	議案第51号 下水道条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第42号 平成25年度介護保険特別会計補正予算	可決	議案第52号 都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第43号 平成25年度下水道事業特別会計補正予算	可決	議案第53号 特定環境保全公共下水道事業受益者分担金に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第44号 平成25年度農業集落排水事業特別会計補正予算	可決	議案第54号 給水条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第45号 平成25年度上水道事業会計補正予算	可決	議案第55号 字の区域変更	可決
議案第46号 後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	議案第56号 町道の認定	可決
議案第47号 介護保険条例の一部を改正する条例の制定	可決	請願第2号 要支援者を介護給付から外すことに反対の意見書提出についての請願	採決
議案第48号 農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定	可決	発議第8号 議会広報特別委員会定数の変更	可決
議案第49号 農業集落排水事業分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定	可決	発議第9号 介護保険要支援者への保険給付の継続を求める意見書について	可決



# 新消防庁舎建設にともなう 「開発センター耐震補強工事」 2億1703万5千円決まる!!

平成25年  
12月  
補正予算

当委員会に付託された議案第40号「平成25年度一般会計補正予算」から議案第45号「平成25年度上水道事業会計補正予算」の6予算案は、原案のとおり可決した。

広場、歩道整備工事2419万5千円、開発センター耐震補強工事等2億1703万5千円、県営道路整備事業負担金3625万2千円、松岡、永平寺両中学校施設整備に1293万2千円が主な補正内容です。

また、国民健康保険事業会計では実績見込みによる療養給付費及び高額療養費の増額等で1億52万円の増額、介護保険特別会計では居宅介護サービス給付費の増額等で6552万3千円増額です。

一般会計補正予算の総額は、3億3014万2千円で、本年度当初の人事異動等に伴う人件費補正、旧京都電燈古市変電所（レンガ館）外観保存補強工事等5915万6千円、永平寺口駅前

詳細な審議の一部は次の通りです。

### 一般会計補正予算

**問** レンガ館は長年手をかけてこなかったため傷みがひどくなった。貴重な文化財には、定期的な点検、補修を行う必要がある。

**答** 教育委員会、企画財政課など複数の課で対応していきたい。

**問** 学校施設屋内運動場の吊り天井は、以前から脱落する危険性を指摘してきたが、22年完成の松岡小学校体育館は、業者の言うがままに吊り天井にした。専門知識を有する職員の採用を行うべきである。

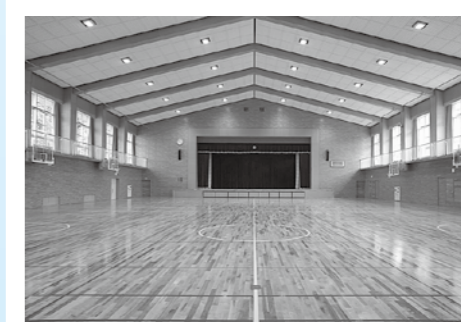
**答** これまで専門家が耐震方法考えてきている。専門職員の人員は2～3人必要となってくるので、難しいと考える。

**問** 開発センター耐震補強工事に2億1千万円かけるくらいなら、新消防庁舎にその分を加えて全てを新築すべきである。

**答** 様々な意見を聞き、議会でも議論の上、決めていただいたこと。



松岡小学校体育館（外観）



松岡小学校体育館（内）

## FGT…「継続審査」に

総務常任委員会

委員長 長谷川治人

本委員会は12月13日に全委員出席のもと開催し、今議会に提案され付託されました案件について慎重に審議しました。

○請願第3号 フリーゲージートレイン(FGT)を導入せず、特急「サンダーバード」[shikoku]の継続を求める意見書採択のための請願

…審議の結果、委員多数で継続審査に決定

○行政にQ&A

Q…①案内看板等の倒伏で、交通安全対策面での対応は？②高齢者の運転免許証返納における恩恵策は？③合併特例債の期間延長は申請が必要か？基金積み立ては（10年から15年へ期間延長で）④ふるさとプロジェクト協議会は設置されているのか？⑤開発センター耐震工事により、業務開始はいつか？⑥道の駅の町負担が7千万円と聞いているが、その施設内容は？⑦11月26日付けの行財政改革状況の報告資料について、行革実施計画における進捗状況の説明を？  
A…①カーブミラー等は日常的業務内で点検を行っている②先進的他市町の状況を考慮し、検討していく③計画により期間延長の申請を行う（現在は未申請）④現在は設置されていない⑤28年1月を業務開始予定と考えている⑥地域振興施設の内容、機能を現在検討している⑦議会に説明を行う

## 延滞金の利率の引き下げ

教育民生常任委員会

委員長 長岡千恵子

本委員会は12月13日に開催し、付託案件につきまして慎重に審議しました。

付託案件はいずれも延滞金の利率を引き下げる条例の制定でした。

議案第46号

永平寺町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第47号

永平寺町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

議案第46号・第47号共に延滞金の利率を引き下げ、納付期限の翌日から1ヶ月を超える期間についても引き下げの対象となったことと、延滞金の利率を引き下げるため、特例基準割合の内容が変更になった。いずれも委員全員賛成で可決しました。

請願第2号

要支援者を介護予防給付から外すことに反対の意見書提出についての請願  
要支援者の重症化を抑制するために、委員全員賛成で採択しました。

## 条例改正、区域変更及び町道認定

産業建設常任委員会

委員長 川治 孝行

本委員会に付託された9案件を慎重審議の結果、全委員の賛成よりすべて可決されました。

議案48号 永平寺町農業集落排水処理施設条例の一部改正

議案49号 永平寺町農業集落排水事業分担金徴収条例の一部改正

議案50号 永平寺町特定公共賃貸住宅条例の一部改正

議案51号 永平寺町下水道条例の一部改正

議案52号 永平寺町都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正

議案53号 永平寺町特定環境保全公共下水道事業受益者分担金に関する条例の一部改正

議案54号 永平寺町給水条例の一部改正

議案55号 字の区域の変更

議案56号 町道の認定

なお、請願4号 T P P 交渉からの撤退を求めた意見書は、継続審議となりました。



永平寺口ロータリー



# 永平寺温泉「禪の里」 3万人突破!

温泉利活用特別委員会  
委員長 多田 憲治

7月13日永平寺温泉「禪の里」がオープンし、11月23日3万人目の利用客に記念品が町長より贈られました。

11月23日(土)・24日(日)は感謝祭が行われ、歓迎行事として、館内ではソバ等が無料で振舞われ、来館者と祝福しました。

オープンして4ヶ月で3万人、初期の目的を達成し、当委員会としても大変喜んでるところです。今後は優れた温泉のアピールと利用客誘客の施設案内、利用客への接待、施設内飲食の地元産食材の使用や地元雇用、また、

町民の健康増進、経営の安定を図り、町外の方々にも永く満足される施設になるよう心がけ、運営されていくことを望んでおります。



永平寺温泉「禪の里」

# 『事務事業評価』を実施

議会での『事務事業評価』を平成24年度の決算審議で実施。「議会評価意見書」を行政へ提出し予算へ反映。

議会行財政改革特別委員会

委員長 川崎 直文

予算決算常任委員会での平成24年度の決算審議で、抽出した18事務事業(1つの事務事業が3つの事務事業に分割され、18となった。)の行政評価を審査し、全議員が議会用評価シートで評価を行いました。

評価結果を、予算決算常任委員会・議会行財政改革特別委員会の委員長、副委員長がまとめ、各事務事業の「議会評価意見書」を作成。

11月8日(金)の予算決算常任委員会で「議会評価意見書」を可決し、11日(月)の臨時議会で「議会評価意見書」の提出を議決し、次年度予算へ反映すべく、行政へ提出しました。

(4ページの予算決算常任委員会審査報告の「議会評価意見書」を行政に提出)を参照

平成24年度永平寺町事務事業評価 議会評価意見書

事務事業名: 地域コミュニティバス運行委託料

評価項目	各議員の評価				議会の評価
	A	B	C	D	
妥当性	A	9	6		A
効果性	A	8	7	2	B
有効性	A	7	4	2	A
総合評価	A	4	6	3	B

次年度の方向性	各議員の方向性					
	行政の方向性	拡大	維持	縮小	総合連携	停止
成果	拡大	5	4	2		終了完了



# 問&答 そこが聞きたい!

一般質問

15名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

## 問 国の新たな米政策どう対応する

### 答 自らの農業経営の判断の方向に



小畑 傅 議員

**問** 昭和45年に始まった米の生産調整(減反政策)を今後5年間で、平成30年に廃止と決めた。同様に生産調整補助金も、反当たり半額の7千500円とし平成30年に廃止とした。これは農政の一大転換である。先進国では、補助金で農業を守るのにはあたり前になっているが本町の場合、零細な米単作の二種兼業農家がほとんどで、補助金を入れても赤字である。この現状をどの様に指導していくのか、お伺いしたい。

**農林課長** 国は農業者が行政に頼らず、自らの経営判断に基づき、需要に応じた生産を行う方向付けを示した。高齢化による後継者不足、耕作放棄

地の増加など地域農業の展望が開けない中、集落営農組織や農業法人・認定農家による農地の集積が進んでいる。「人・農地プラン」による環境型有機農業を推進し、農業の体質強化を図りたい。

## 問 新設課(仮)で人口減少対策を

### 答 県外事例を研究し検討したい

**問** 町の広報誌を見ると毎年百人前後の人口が減り続けて平成25年1月現在では1万9700人となっている。本町は子育て支援や福祉支援・学校教育支援など、住みよい町づくりに努めている。福井市に隣接した地勢的な優位性と利便性で、今後人口増を図るには土地の流動化が不可欠と考える。その為の情報の一元化に庁舎内に課を新設する考えはないのか。

**副町長** 県外での事例などを研究して、本町でも取り組みの検討を行いたい。

**町長** 町づくりの大きな課題は人口を増やすこと、減らさないことが重要と考える。農業も土地流動化も大事である。今後、対応できる体制を作りたい。

**企画財政課長** 情報収集の方法や土地流動化の制限・情報公開など課題

【その他の質問】  
「街路樹のあり方を考える」



田植直後の水田

## 恒例! 年末大掃除

12月26日に、議場の大掃除を行いました。永平寺町議会では5年からの恒例行事となっています。1年間の感謝の気持ちを込め、議員みずから机拭きやフロアの掃除機がけ、窓拭きをしました。



議員みずからゴシゴシ



# 問 26年度 町政をどうする

## 答 誇りや幸せ、やすらぎを感じる町に



上坂 久則 議員

**問** 来年度予算編成の基本的な考え方は。

**答** 企画財政課長 財政面では、健全化の維持向上を図る。予算編成の前提条件として、実施計画、事業事業評価の検証しつつ、目標達成（義務的経費・継続事業・緊急の高政策等）の骨格予算とします。六月補正にて通年予算を計上する。

新規継続事業等として教育力の向上、子育て

**町長** 大きな課題として、人口増加策が必然であり、インター付近の整備（工業団地等）や団地造成を検討したい。住ん

# 問 住環境良化には条例で

## 答 条例化を検討する

**問** 住環境の良化、保全には条例による明示化が必要と思うが、現況の制度で維持、向上が図れるのか。

**環境課長** 土地の占有者は、清潔に保つよう努めなければならぬと法に明記されている。十分と考えている。

**問** 現状の空き地は草ぼうぼう、廃屋の放置等認識には疑問。



手入れされていない空き地

**【その他の質問】**  
「議会」議会行政改革委員会から24年度の決算」

# 問 燈籠流し会場整備について

## 答 順次整備していく



川治 孝行 議員

**問** 「九頭竜フェスティバル永平寺燈籠流し」に全国各地から永平寺河川公園に大勢の方々が観光で訪れるが、次の点について伺う。

24年、25年度の来場者及び 駐車場、トイレ、花火、僧侶、燈籠、出店舗と実施状況と実績は。

**商工観光課長** 来場者26,000人、駐車場1,560台、大型60台、トイレ30基、花火1,243発、僧侶120名、店舗120、団体18店舗、灯籠9200基。

**問** 「九頭竜フェスティバル永平寺燈籠流し」は地元優先のイベントか又は観光誘客も視野に入れたイベントか。

**商工観光課長** 地元及び観光誘客も視野に入れている。

**問** 会場内の出店は永平寺町のPRをするには絶好のチャンスでもあるが今後の九頭竜フェスティバルの中で農工商が一体となった出店やイベントも必要かと思うが。

**商工観光課長** 今後も農工商一体となったイベントとして取り組んでいきたい。

**問** 永平寺町の燈籠流しのWEBページは情報不足であると聞く。この点について今後の対応は。



昨年の「大燈籠ながし」会場

**商工観光課長** 県内報道機関及び、ホームページ、情報誌、旅行雑誌等で情報発信をしている。ウェブメールでも今後きめ細やかな情報発信をしていきたい。

**問** 会場の整備、設営は数週間を要するかと思う

**商工観光課長** 排水状況の悪いところから順次整備していきたい。

**要望** 観光の振興と快適にぎわいのある活力ある豊かな町づくりを目指す永平寺町として、今後の対策を期待する。

**【その他の質問】**  
「公共事業の発注について」

# 問 国道364号整備促進! 選挙公約に

## 答 課題検討し取組む



長谷川治人 議員

**問** ①国道416号と機能補償道路を結ぶアクセス道路の検討は進んでいるのか。

②国道416号東古市交差点から鳴鹿橋間の狭隘箇所部分改修あるいはアクセス道路について前向きに検討を。また、「国道364号期成同盟会」の整備計画に組み入れ広域的な力で促進を。

③町長の3期目の出馬にあたって、公約に掲げる考えはないか。

**建設課長** ①永平寺口駅を拠点としたまちづくり

**問** 搬送ファンはエコ教育で有効活用

**答** 生きて教材に

**問** 議会として予算を認めたことは事実。設置しからの様々な批判や指摘

**建設課長** 送風ファンと送風ファンをうまく活用することで、「無駄をなくしそして人間の体にも最適に」という生きて教材になる。

**問** 東日本震災を忘れないで 援助策を検討する

**答** 人口減、若い世代家庭増の政策として、東日本震災家庭の誘致を考慮すべきだが。

**企画財政課長** 空き家情報、町営住宅状況等を踏まえ、被災者に対する援助策の検討する。

**環境課長** 条例化も検討する。



東古市交差点から鳴鹿方面





長岡千恵子議員

**問** 町職員は削減しないのか。現在の機構のままでは難しいのでは。

**答** 総務課長心得 例えは、消防の高機能センターの配備では専門職員の養成が必要。今後柔軟に対応したい。

**問** 職員を増員する部署があり、国体を担当する部署の新設など、機構改革が必要ではないか。

**副町長** 効率的に仕事を進める体制のあり方、政策課題に的確に対応できる行政の組織のあり方など、どのような組織づくりが必要か十分検討した上で組織の再編あるいは事務分掌の見直しに取り組む。

**問** 国体準備室は存在しないのか。

**答** 給食費無償化の意見書の進捗は



役場本庁

**副町長** 教育委員会に設置済。準備室をどう発展させるかは機構改革の中で、十分検討する。  
**問** 町民の用事が1カ所で済むように、関連がある課の統合も必要では。  
**副町長** 課の統合も含めて十分に検討する。

## 問 庁内の機構改革が必要では

### 答 効率的な組織の再編に取り組む

**問** 給食調理室の環境整備は。  
**学校教育課長** 調理室内の排水溝の修繕、自動手指洗浄消毒器の設置、休

息室の修繕は終了。衛生管理、設備の整備、厨房機器の補修・更新等を計画的に進める。専用トイレ・自動手洗器の増設・

## 問 中学校「部活動指導」の指針は

### 答 文科省の指導ガイドラインで実施

**問** 中学校の部活動で、一部に競技能力の低い生徒を切り捨てるような指導があると聞いた。「学習指導要領」には、「部活動は学校教育の一環である。」と明記されている。本町の中学校での部活動指導の実態はどうなのか。  
**教育長** 部員が多い部では全員平等に試合に出すことは難しく、指導者の一課題になっているのは事実である。  
特に今、体罰の問題で文科省は指導のあり方を厳しく見直し、今年5月運動部活動の指導ガイドラインを作成、県が検証し本町にも届いている。それを使って部活動指導のあり方を、今、見直している最中である。



上志比中学校壮行会



原田 武紀 議員

**問** 外部コーチにも町の教育方針を徹底するため無償ボランティアではなく、相応の報酬を払うべきとの意見もあるが。  
**教育長** 外部コーチは、松中3、永中10、上中3の16名、有償、無償バラバラで不公平なため、今「町中学校部活動外部指導者派遣事業」を検討中で、新年度から僅かでも謝金をお渡しする。合わせて「部活動指導の手引」を作成、年度初に各学校の意図や外部指導者のあり方等を説明し、その協約に基づいて適切な指導をお願いする方式に改めたいと考えている。

## 問 高齢者に「禅の里」利用料金の割引を

### 答 割引の実施時期を検討している



多田 憲治 議員

**問** 高齢者は、年金の減額、医療費負担の増額、消費税の増額と、厳しい課題がよしかかっている中、行政として高齢者への心の支援策を考えていないのか。  
**7月オープンした永平寺温泉「禅の里」は、当初の予想より多く町内外の利用者で賑わっている。町歳入の入湯税も増えるので、町内高齢者に永平寺温泉利用料金の割引を。**  
**福祉保健課長** 割引などの

実施時期については、今後検討する。  
**問** 高齢者の交通事故特に、加害者の交通事故に家族、親族は大変心配している。運転免許証を返納された後期高齢者に限り、えちぜん鉄道の500円フリーキップ策も検討しては。  
**福祉保健課長** 町独自のフリーキップは、町民の確認方法など事業者の協力が必要となるので、鉄道会社と協議する。

**問** 町民を代表する委員として、町内各地域の声また、運行状況を把握しているのか。児童数が少ない今日、上志比地区では帰る時間帯に近くまで家族が車で迎えに来ており、防犯面からも親の心境も理解出来る。遠距離登校児童には家族の意向、またアンケート等をとって、コミュニティバス利用方法を探ったかどうか。  
**総務課長心得** 家族アンケートの実施については、学校や関係課と協議していき

**問** 町民を代表する委員として、町内各地域の声また、運行状況を把握しているのか。児童数が少ない今日、上志比地区では帰る時間帯に近くまで家族が車で迎えに来ており、防犯面からも親の心境も理解出来る。遠距離登校児童には家族の意向、またアンケート等をとって、コミュニティバス利用方法を探ったかどうか。  
**総務課長心得** 家族アンケートの実施については、学校や関係課と協議していき



コミュニティバス

調理室内の換気対策は来年度以降順次対応。  
**問** 食物アレルギーのある児童生徒への対応は。  
**学校教育課長** 保護者に献立表を配布して最終確認をしている。  
**問** 期間を決めて事業の検証を行ったか。

**学校教育課長** 事業を開始して期間が短いので、今後取りまとめ報告できるようにしたい。  
**問** 公会計への移行は。  
**学校教育課長** 平成26年度から特別会計の設置を検討している。  
**問** 一元仕入れ、一元支

払いは。  
**学校教育課長** 松岡地区・上志比地区は仕入、支払とも地区ごとに一元化。永平寺地区の支払は本年4月から一元化した。仕入については来年度から地区内で一括するようにしたい。

## 問 合併自治体に

### 答 支所数等での交付金拡充を検討中

**問** 「平成の大合併」のピーク時から約10年が経過、地方交付税の特例期限切れを迎えるため、全策とはどのような内容なのか。  
**企画財政課長** 総務省は、合併特例を廃止する見返りに、支所数や消防施設が多い自治体に普通交付税を上乗せする検討を始めたところで、詳細な情報はまだ示されていない。

**問** コミュニティバスを  
通学に併用  
**答** 保護者要望を聞き検討する





酒井 要 議員

### 問 道の駅構想はどうなっているのか

#### 答 県と町が一体となって事業を進める

**問** 県の仕事が先になると思うが、地質調査も10月に終わったと思うが、先日65歳から80歳までの方々と話す機会があり、最近、何人かの方々が全国の道の駅を探索しているとのこと。全国津々浦々ナビゲーションを使えば情報が分かる。福井には坂井市三国町の道の駅へ行つた方もいた。ツアーで旅行しても観光社の儲けになるだけのこと。今は自由に道の駅で特産品を買ったり見たりして楽しんでいるとのことだった。永平寺町にも道の駅ができることを話したら、いつできると聞かれた。完成はいつになるのか。

**建設課長** 県と町が一体となって事業を進める。



温泉横 道の駅建設予定地

道の駅の整備手法には一体型と単独型がある。最近、国と市町あるいは県と市町の一体型が多くなってきており、今回できる道の駅の整備も一体型で完成を目指している。現在永平寺町道の駅整備検討委員会で構想についてあらゆる角度から検討しており、完成時期は平成27年度の完成予定を目指している。

**問** 永平寺町が道の駅に手を挙げたとき、他の市町も7カ所の要望が県に出ているとのこと。最近少子化で子ども1人か2人育てたらもう夫婦でどこへ行くのか。旅行も大層だし、手軽にできる

### 問 松岡から消防署がなくなるなんて

#### 答 消防力を結集し、期待に応える

**問** 住民は怒っている。上志比もなくなるが、PRができていない。27年度中には東古市に一署体制となるが、このことが知られていない。議会と語るう会でもお叱りを受けている。住民の生命と財産を守る消防署のことなら、納税を惜しまない！他の予算を削つても、せめて救急車は置いてほしい！上志比もこれでいいの。日本一早く、病院へ運べる町というのも相当魅力のある町になると思うが、

**消防長** 十分な説明をさせて頂いたつもりだが、



移転する松岡の消防庁舎

### 問 首長が仕切る教育委員会になるのでは

#### 答 行政の中立と安定は担保する

**問** 教育行政の執行権を教育委員会から首長に移す改革案が文科省で有力になっている。背景もいろいろあるが、学校教育まで首長に委ねるのは危険だ。

**答** 法律は変わっても現場

では5人の教育委員が踏ん張ってほしい。実践面でも期待している。

**教育長** 首長に権限が強まるのはやむを得ないが、教育行政の中立性とか安定性を担保にするべ



松川 正樹 議員

さらに丁寧にと考えている。今後、防災、救急体制の機能の充実強化のため、消防一元化を図ることにより、消防の新しい改革と消防広域化にも耐えられる施設を願っている。新しい体制でも我々の使命を、職員一丸となり、果たしていきたい覚悟でいる。

### 問 平成26年度予算編成の基本方針は

#### 答 骨格予算とし、編成を行う



齋藤 則男 議員

のは道の駅だという話で盛り上がった。今度永平寺町にも道の駅ができる話をしたら、ぜひできたら教えてくださいとのこと。また、禅の里温泉で大変効能、質の良い温泉もあることも話をした。特産品は観光客を生むと

**企画財政課長** 平成26年度の当初予算は、経常経費や義務的経費、継続事業、緊急性の高い施策を中心とした骨格予算とし、編成を行うこととしている。

**問** 町税、その収納率の向上、また滞納税額の減少等の方策は、納税意識の高揚のための施策は、

**事務課長** 適正かつ公平な課税と徴収を行っている。収納率向上について

は、口座振替の推進、特別徴収の加入促進。滞納額の減少等に向けて、嘱託徴収員2名の雇用、夜間徴収の実施、滞納者への納税相談の実施など、滞納整理の強化に努めている。

**問** 国の消費税率等の改正による、歳入財源の手数料や使用料等は、

**企画財政課長** 公共施設の使用料、住民窓口業務の手数料は、改定しない

と思うが。

**商工観光課長** 特産品ですと、ごま豆腐か酒などがよく出ている。施設的には大本山永平寺といえる。

**町長** 道の駅は今いくつもできた。特色というか、特性を持った道の駅

にしていきたい。あらゆる角度から進めていきたい。観光の延長線上にあると思うし、地域の交流にもつながると思う。

**要望** 話題になる道の駅になることを願う。

き。現行の制度の中で、今後も首長と教育委員会が連携を密にしていこう。

**町長** 教育は基本的に中立性が大切だ。教育長とも身近に意思の疎通を図っていく。今もうまくいっている。中立的な立場で子どもを育てていくことが一番だ。

### 問 学力テストの学校別成績公表は

#### 答 公表には反対

**問** 文科省の方針が変わった。公表されるのか。

には、事前に町の広報紙、また町のホームページ等で周知していきたいと思っっている。

**教育長** 今は公表自体が弱い者いじめにつながりそうである。公表には反対である。

【その他の質問】  
「幼稚園の正職員の割合の改善は」「仮称『松岡ルーツ館』に魂を入れるために」

### 問 災害対策の政策を提案

#### 答 避難用資材購入の補助制度利用を

**問** 除排雪対策、その諸準備は、除雪車の出勤の判断等はどうにするのか。

**建設課長** 本年度も除雪会議を行い、除雪に携わる職員を対象に、出勤基準や業務内容について説明をしたところである。

**除雪車の出勤基準は積雪量が10cm以上に達した**

金交付要綱に基づき、年度額30万を上限とした避難用資材購入の8割補助を行っている。



除雪風景

**問** 町内の全家庭に対し、家庭用の非常用持ち出し袋等を無償で配布、または一部補助を出すというような政策は考えられないものか。

**総務課長心得** 現在、町では自主防災組織等補助

【その他の質問】  
「町内の各種の団体に対する補助や委託事業について」





川崎 直文 議員

### 問 町の空き家対策の取り組みは

#### 答 空き家に対する条例化を検討

**問** 町内の空き家の現状、状況は。

**建設課長** 平成24年度の調査は次のとおり。一戸建て住宅戸数が町全体で7,187戸。空き家件数が、229戸。その中で、廃屋が48戸、一部破損等が69戸、破損なしが112戸。

**問** どのような問題事象があり、相談件数はどれくらいか。

**環境課長** 今年度、これまで2件の相談があった。1件は瓦の落下の危険性。所有者が確認でき、管理をお願いした。もう1件は風が吹いて壊れた屋根の部材が飛んできた、今後も心配であるとの情報。現地を確認し所有者を特定しようとしたが、特定できずに至っている。



空き家を利活用した居宅介護事業所「ほっこり」

**問** 空き家対策として、空き家の利活用と除去的の2つがある。利活用の実績は。

飛散物の苦情が出ている。空き家対策の条例を早期に制定しなければならぬ。制定についての考えは。

**建設課長** 空き家の利活用については空き家バンク制度がある。今年度までに8件の登録があり、5件の契約が成立している。

**環境課長** 町においても、今後も空き家の増加が予想される。安全、安心な暮らし、良好な景観、快適な居住環境のため条例化の検討を引き続き進める。

### 問 国の介護保険大改悪へ、町の準備は

#### 答 サービスが低下しないように考慮

**問** 厚生労働省の介護部会は、介護保険から要支援1、2の訪問介護と、通所介護を市町村の支援事業に移行するとした。さらに、町は費用低減の目標と計画を作り、この分野での介護給付を減らすことを第一の目標とせよと示している。支援事業への移行へ町の準備と課題は何か。

**福祉保健課長** 12月初旬に県介護保険担当者会議が開かれ、要支援の一部は、29年度末までに地域支援事業に移行の方向が示された。

現在、具体的な指示はないが、事務量の増を考慮し、介護保険第6次計画で検討する計画だ。

**問** 国は訪問や通所介護をボランティアに任せ

**問** 町有宅地売却で、坪1万円とは

**答** 鑑定しており、瑕疵はない

**問** 町が平成23年度末に坪1万円売却したとする松岡棚32字26の1地と



介護保険ハンドブック

安上がりというものが、支援事業のサービス単価が引き下げられると、既存の介護事業者や施設は利用できるのか。

**福祉保健課長** 地域包括ケアシステムの構築を進め、全国一律のサービスが、新事業への移行で、既存のサービスに加え、利用者は多様なサービスから選択できると考えている。

**町長** 基本的には要支援者のサービスが低下しないようにと考えている。



金元 直栄 議員

### 問 地区の「まちづくり組織」を急ぐ

#### 答 住民・行政協働の体制を推進

**問** 永平寺町都市計画マスタープランで、小学校区で地区の自治、振興に取り組みまちづくり組織

**答** の設立を示している。少子化対策、防災・防犯対策等で、まちづくり組織の設立が急がれる。町の

### 問 福大、県大周辺の防犯灯の設置

#### 答 安全安心なまちづくりの推進

**問** 旧町営住宅を解体し数年経過しているが、その空き地をどのように利用するのか。また、計画があればお聞きしたい。

**監理課長** 現在芝原用水の国営下流域、農業水利工事が進められている。パイラインの上部整備は、平成26年度末の工事終了となっている。今後この工事終了後、周辺の環境も大きく変化することから、道路整備も含めて、宅地造成等を考慮し、有効的な利用を考えていきたい。

**問** 大学周辺の道路に防犯灯があまりにも少ないことから、もつと街灯を増設し、明るい歩きやすい道路にしてほしいと思

**答** い、防犯灯の増設計画があるのか。

**総務課長心得** 犯罪被害から守るため、防犯灯の

設置により夜間の一定の明るさを確保することは重要と認識している。今後歩行者の安全確保の観点から地元区長と協議のうえ、増設に向けて積極的に取り組んでいきたいと考えている。

**問** 電気料金や維持管理は地元負担となるのか。

**総務課長心得** 防犯灯の設置については2種類あり、地元自治会からの申請と、町が安心して明るい通学路普及促進事業として町が主体となって設置するものとある。町が

### 問 九頭竜川中州の立木について

#### 答 国に雑木の除去を要望する

**問** 中州の立木も幾分か伐採されたが、まだ足りないと思、今回再度質問する。今後も継続して伐採するのか。

**建設課長** 雑木伐採の整備については、自然環境の保全、動物愛護の観点も含め、計画することになっている。今後も松岡地区の景観や昔の九頭竜川を取り戻す働き掛けを国に力強く要望していく。

### 問 神明2丁目町営住宅跡地開発は

#### 答 宅地造成など有効に活用



渡邊 善春 議員

「その他の質問」  
「永平寺河川公園の排水について」



五松橋上流中洲





滝波登喜男議員

### 問 レンガ館は内部活用すべき

#### 答 地元の協力で既存駅舎の利活用を

**問** 永平寺口駅周辺開発の拠点施設であるレンガ館は、当初内部活用する保存計画であったものを、改修費がかかりすぎるといふ理由で、外観保存となった。しかし、建物の中から笑い声や音楽、いい香りがすること

**答** 外観保存か内部利用か検討中

**問** 旧役場庁舎（織物会館）の保存を

**答** 外観保存か内部利用か検討中

**問** ふるさと創造プロジェクト事業は、地域のルーツを学び伝え、愛着や誇りを取り戻すことを目的としている。松岡地区発展をともし歩んだ旧役場庁舎（織物会館、昭和3年建設）を残し、拠点にすることは、この目的に最もふさわしい。歴史的価値も高く、保存し利用すべきである。



レンガ館

で人が集い、にぎわうのではないか。

**企画財政課長** レンガ館は永平寺口駅のシンボリック的存在とし、ライトアップ等を行う。地元まちづくり協議会等と既存駅舎の利活用を協議している。

### 問 地域包括支援センター本来業務を

#### 答 次期の介護保険計画で推進する

**問** これからの高齢者対策としての地域包括ケアシステムの構築と推進は、地域包括支援センターの充実が不可欠であり、地域拠点としての本来の役割がある。センターの基本的業務は、総合相談支援、権利擁護、介護予防ケアマネジメントであるが、今後重要となる本来の業務は、「地域包括ケア」システムの推進とその構築であり、その生活圏域でのネットワーク

**答** みんなでつくる文化祭を来年度に

**問** 今年の文化祭は活動に繋がらない

**答** みんなでつくる文化祭を来年度に

**問** 合同開催となった今年の文化祭は、目的を①活動への参加意欲②ふるさと意識の集結で「心豊か



上田 誠 議員

くづくりが当町の高齢者対策の方向性を決めると考えるが。

**福祉保健課長** 地域包括支援センターは、保健師、主任ケアマネジャー、社会福祉士、看護師の4名で永平寺社協に委託している。町も地域包括ケアシステムの構築は重要と考えており関係機関のネットワーク会議で準備を進めている。またネットワークづくりには住民の協力が不可欠と考えている。

**問** システムの構築と推進は、行政が具体的な方策を示しその体制づくりが重要であるが。

**福祉保健課長** 次期の介護保険計画で、ニーズ調査や高齢者台帳など、地域包括ケアを推進していく。

### 問 道の駅は永平寺温泉に相乗効果？

#### 答 町民も楽しめる道の駅に

**問** 温泉の目的は町民の健康増進、介護予防、余暇活用であり、道の駅は主に町外者への交通情報

**答** 提供やトイレ休憩等である。それぞれの目的が違い、誘客だけにとらわれないように。

**町長** 温泉の利用者は、11月3万人を超え、町民は約6割だった。道の駅は町が地域振興施設約7千万円、県が休憩所その他約1億7千万円。町民も気軽に利用する道の駅にし、相乗効果、地域の活性化につなげたい。

館関係者にとどまり、昨年までの参加者で創り上げた実行委員会はなくなくなった。発表の場がなくなった団体や個人は、参加や活動意欲に繋がらず、参加者で創り上げない活動は、人づくり、地域づくりには繋がらないと思

**生涯学習課長** ステージ発表では、永平寺13↓5、上志比15↓9と減少、作品展示は41団体、個人は5名の参加だったが、他地区の発表が見られてよかったとの感想もある。

**教育長** 文化祭は、活動

を通じた仲間づくりであり、今回は地区を超えた全体での活動の一步と評価している。



文化祭の作品展示

# 視察レポート

平成25年 11月28日

## 誘客のために案内看板は十分か？

永平寺町には、素晴らしい観光地や名所、そして埋もれた観光資源が多くあるのに、案内看板が少なく、町の観光アピールが足りないのでは…という声を多くいただきました。観光産業の育成には来町する方々に目を引く十分な案内標識がされているかが必須条件です。

そこで、産業建設常任委員会は、去る11月28日、町内・近隣市町の案内板設置状況をはじめ、誘客について調査・研究のため視察研修を行いました。



※今回、嶺南・越前海岸305号沿線を

- 中心に視察
- 三方町**
  - 三方五湖（レインボーライン）
  - 三方石観音
- 小浜市**
  - フィッシャーマンズワーク
  - 小浜お魚センター
  - 明通寺
- 若狭町**
  - 熊川宿
- 越前海岸305号線沿線**
  - 厨温泉
  - 越前かにミュージアム



■報告様式

案内看板	
1) 設置箇所	福井県三方郡美浜町坂尻地係
2) 路線名	国道27号線
3) 看板内容	施設館内の案内
4) 規格	鋼製
5) 表示内容	千鳥苑、五木茶屋、原子力発電（電光式）
6) 備考	看板内容：縦長で車からも見やすい。建物の外観にもデザインがあっていた。

産業建設常任委員会・商工観光課職員



《総務常任委員会関係》

問 地区要望の実施時期の明確な提示をすべきだが。

答 各地区からも同様の指摘がある。大型の事業では国の補助金の時期が明確にならないと提示できない。事業のランク付けは難しい課題である。

(※行政より) 町が事業主体として対応すべき案件については、関係する担当課が現地の確認や要望内容の詳細・ヒアリングを通して、重要性や事業効果などの観点から十分検討を行っている。

また、事業主体が国・県である要望事項は、町として要望の実現に向けた働きかけしている。

検討の結果、対応可能な要望事項は、関係区長に実施時期等を連絡し、道路の規制等が生じる工事については、事前にチラシ等でお知らせしている。

要望 地区要望の経過や結果、取り組みについての行政から報告がない。

問 町の借金が146億円、国は1千兆円借金を抱えている。議員に頑張してほしい。町の財政を改善するには住民税を増やす方策を考えないと。議員の発案で人口を増やす方策や、死んだ宅地を住宅にしたり定住促進の方策を考えよ。

答 人口を増やしていくことでは町長も理解しているが、永平寺町はまだ減り方が少ない方だと言っている。町は西野中や栗住波で実施し、西野中では1坪1万円で土地提供、19区画一坪6万円位で提供し、完売。

人口減では上志比地区が著しく、栗住波周辺で16戸建て、完売。その分子どもの数も増えている。空き家対策として永平寺町の良い所をアピールしながら来てもらう方策は良い事。議会として今後も提言していく。

(※行政より) 町では、定住促進の主な施策として、若い世代の定住化につなげるため、子ども医療費の無料化、保育サービスの充実、学校給食費の無償化、教育力の向上等を行っており、更に住宅取得に対して補助を行う等様々な取り組みを実施している。

また、宅地の情報については、不動産業者との連携を図り、町内の不動産情報をお知らせする取り組みや宅地造成等について検討している。

問 道の駅はできるのか。

答 県の事業として決定された。場所は永平寺温泉「禅の里」の隣。町の施設案内の看板が「禅の里温泉」も含めて少なく感じている。今後、調査して対応したい。



ダイジェスト版

# 議会と語り合

(※ 質疑内容抜粋)

平成25年10月22日23日28日 実施

## 町民からの質問・要望等への回答

町内12会場で開催し、3日間で延べ141人の方が会場に足を運んでくださいました。

《教育民生常任委員会関係》

意見 学校があるから、そこに集まってきて地域としての活動が出来る。ということでは学校は残すべき。一方で、若者たちは子どもの多い市・町へ出て行くようになった。仕事が無いから帰って来られない。施策が必要だ。



花谷会場

《産業建設常任委員会関係》

問 冬期間に路上駐車があり、除雪に困っている。条例等で解決して欲しい。路上駐車を取り締まりができないか。除雪した後に路上に雪を捨てている人もいる。

答 困っている状況は理解できる。路上駐車違反・道路への投雪等で事故が生じた時、当事者が刑事事件者となり得る。損害賠償の責務が生じるといった広報活動を町当局に要請する。

問 河川公園の管理を町外の業者に決定したのは疑問に思う。シルバーにさせても良いのでは。会員の仕事は減り、700万円の減収となった。

答 委託管理は、契約期間終了時には町条例で入札して契約締結すべきとある。法の下、資格要件があれば誰でも入札できる。公募して提案内容や入札金で、審査委員会にて公平に決定された。差金も少額であり、提案内容は決定者が勝っていたのではないかと。シルバーは公益法人であり、一般の民間業者と区別しても良いとの意見もあった。

問 機能補償道路についてだが、横断歩道に照明がない。

答 道路ができたばかりなので、議会としても町を通じて県に要望していく。確認して回答する。

要望 機能補償道路の花谷地係には、融雪が絶対に必要なと思う。冬季に必ず事故が多発してしまう。



機能補償道路

《変わる高齢者対策》

問 要支援1・2の現利用者は、制度改正で介護保険は適用されないのか？

答 介護保険の保険給付費では介護サービスは全国一律であるが、市町村事業に移行すると、行政府間ではサービスの差がでてくる懸念はある。

問 認知症の早期発見と早期対応について大学病院以外の医師ではできないのか。サロンの要望でなく手軽に検診がうけられないのか。町は専門員の要請予定はないのか。

答 専門医が必要である。研究を専門に行っている医大だからできる。

《役場の仕事を深く見る》

問 地域コミュニティバス事業について、1年間の利用者数を見ると、町民一人当たりにかかる費用が大きい。費用対効果について、議員はどの様に理解しているのか？また、もっと見直しすべきところは見直し、効率性のある運営をして欲しい。

答 高齢者や交通弱者の移動手段としては社会的なインフラと位置付けられる。その面では費用対効果のことを言われるが、今後更に充実を図っていく必要がある。効率性については、デマンド方式を採用したり、ルートの見直し・再編・運行時刻の見直し、更には議会でも再三議論されている町内一円を通して巡回する方法等の提案をしていく。

(※行政より) 平成26年度にコミュニティバスの

路線や停留所ごとの乗客数等の検証を行うと共に、運行に対するアンケート調査の実施を予定している。これらの調査結果等をふまえ、平成27年度の契約更新時に併せて運行形態の見直しについて検討したいと考えている。

問 事業評価について、時期遅しの感はあるが、今回からやり始めたことに関しては評価したい。疑問として、24年度事業に対して26年度予算に反映することとしているが、1年遅れはどうして？普通なら25年度事業を評価して26年度に反映するのが一般的と考えるが。

答 前年度予算(24年度)の出納閉鎖が5月。今までは決算認定が12月に行われており、この時点では25年度の予算は執行中であり、12月ともなると翌年度(26年度)の予算編成に取り掛かる。予算決算の仕組み上、評価は1年遅れになる。今年からは出来るだけ早い時点で翌年に備えるために11月(11日)に臨時議会を設定した。

※紙面の都合上、掲載できなかった  
質疑内容・回答はホームページほか、  
本庁役場・永平寺支所・  
上志比支所で1月下旬より  
ご覧いただけます。  
ご了承ください。



永平寺町議会

検索



時	1月31日(金)	2月1日(土)	2月2日(日)	2月3日(月)	時
8	00 一般質問(1日目①) 小畑傳議員 川治孝行議員 長谷川治人議員	00 予算決算特別委員会	00 一般質問(2日目②) 川崎直文議員 金元直栄議員 渡邊善春議員	00 一般質問(1日目③) 多田憲治議員 酒井要議員 松川正樹議員	8
9	43 文字告知放送			24 文字告知放送	9
10	00 一般質問(1日目②) 上坂久則議員 長岡千恵子議員 原田武紀議員	14 文字告知放送	03 文字告知放送	00 一般質問(2日目①) 松川正樹議員 齋藤則男議員 川崎直文議員	10
11		00 本会議	00 一般質問(2日目③) 滝波登喜男議員 上田誠議員	45 文字告知放送	11
12	03 文字告知放送	42 文字告知放送	41 文字告知放送	00 一般質問(2日目②) 川崎直文議員 金元直栄議員 渡邊善春議員	12
13	00 一般質問(1日目③) 多田憲治議員 酒井要議員 松川正樹議員	00 一般質問(1日目①) 小畑傳議員 川治孝行議員 長谷川治人議員	00 予算決算特別委員会	03 文字告知放送	13
14	24 文字告知放送	43 文字告知放送		00 一般質問(2日目③) 滝波登喜男議員 上田誠議員	14
15	00 一般質問(2日目①) 松川正樹議員 齋藤則男議員 川崎直文議員	00 一般質問(1日目②) 上坂久則議員 長岡千恵子議員 原田武紀議員	14 文字告知放送	41 文字告知放送	15
16	45 文字告知放送		00 本会議	00 予算決算特別委員会	16
17	00 一般質問(2日目②) 川崎直文議員 金元直栄議員 渡邊善春議員	03 文字告知放送	42 文字告知放送		17
18		00 一般質問(1日目③) 多田憲治議員 酒井要議員 松川正樹議員	00 一般質問(1日目①) 小畑傳議員 川治孝行議員 長谷川治人議員		18
19	03 文字告知放送	24 文字告知放送	43 文字告知放送	14 文字告知放送	19
20	00 一般質問(2日目③) 滝波登喜男議員 上田誠議員	00 一般質問(2日目①) 松川正樹議員 齋藤則男議員 川崎直文議員	00 一般質問(1日目②) 上坂久則議員 長岡千恵子議員 原田武紀議員	00 本会議	20
21	41 文字告知放送	45 文字告知放送		42 文字告知放送	21
22			03 文字告知放送		22

議会・各委員会の議員出欠状況

○：出席 ×：欠席 △：遅刻 早退 ー：員外 傍：傍聴 申：申事 研：研修

日付	開催委員会等	小畑	滝波	金元	齋藤	長岡	原田	川治	川崎	多田	上坂	長谷川	松川	渡邊	上田	酒井	伊藤
9月24日	予算決算常任委員会現地視察	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	○	○	○	○	○
9月24日	消防署統合推進特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	傍
9月24日	議会行政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
9月27日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
10月2日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月3日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
10月4日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	傍
10月7日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月7日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
10月18日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月22日	議会と語ろう会 1日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月23日	議会と語ろう会 2日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月28日	議会と語ろう会 3日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月1日	予算決算常任委員会	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月8日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月8日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
11月20日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
11月26日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月27日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月28日	産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	傍
12月3日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
12月3日	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月9日	定例会(一般質問1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
12月10日	定例会(一般質問2日目)	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	△	○	○
12月12日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月13日	総務常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月13日	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	傍
12月16日	産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
12月17日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月17日	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	出席回数	24.5	23	21	22	27	23	25	27	24	16.5	23	26	24	17.5	20	16
	会議回数	25	24	21	22	27	24	25	27	24	21	24	27	25	21	21	16
	出席率	98%	96%	100%	100%	100%	96%	100%	100%	100%	79%	96%	96%	96%	83%	95%	100%

「開かれた議会」のひとつとして、町民の皆様へ議会活動をより一層知っていただくため、議会・各委員会の議員出欠状況を随時お知らせいたします。

# 議会活動レポート

Eiheiji town council activity report

ホームページ・facebookに  
随時更新中!

## 9/24 予算決算常任委員会 現地視察



予算決算常任委員会では、平成24年度予算が適正に使われたかの審議(全5回)を実施。この日は一日現地視察・調査を行いました。

## 10/28 愛知県田原市議会 来町

愛知県田原市議会議員の6名が当町議会に「議会改革」「議会報告会」についての視察のため来町しました。前日は、花谷集落生活改善センターでの『議会と語ろう会』を傍聴されました。



## 11/18 石川県かほく市議会 来町



石川県かほく市議会 議会広報特別委員会の議員ら8名が「議会におけるSNS(フェイスブック等)の活用」についての視察のため、来町しました。

## 10/17 嶺北4町の議会 合同研修



池田町・越前町・南越前町・永平寺町の4町の議員が一堂に会し、永平寺町において「道州制について」の研修を受けました。その後、情報交換するなど、議員同士の交流も深めました。

## 10/21 愛知県尾張旭市議会 来町



愛知県尾張旭市議会の議員ら11名が「議会と語ろう会」「議会基本条例」「議会広報」についての視察のため来町しました。身が引き締まります。

## 11/18 熊本県御船町議会 来町

ゆるキャラで有名なくまモンの熊本県から、御船町議会の議員ら16名が「議会活性化に向けた取り組み」についての視察のため来町しました。



## 11/21 佐賀県白石町議会 来町

佐賀県白石町議会総務常任委員会の議員6名が「議会改革」についての視察のため来町しました。



本議会以外にも  
さまざまな活動がございます。

## 12/24 社会福祉協議会出前講座



教育民生常任委員会の委員・議長・副議長の7名が、永平寺町社会福祉協議会の出前講座を受けました。



町の活力!

# かんぱる団体

## 「オカッテイイベント」in東京に参加 (企)若鮎グループ加工部

(吉波生活改善センター内)

来る3月上旬東京で7日間にわたって、日本各地のおいしい食材を集め地域食品のセレクトショップのオンパレード「オカッテイイベント」が開かれます。そのイベントになんと今回、ご紹介する「若鮎グループ加工部」が出店します。その打合せの日、突撃取材となりました。

その打合せ会には、若鮎グループの7人に加えて、県・中央会・町の担当者や料理の先生、越廼漁業の方もおられ、30分以上も立ちっぱなしの熱い熱い話から始まりました。きめ細やかな提案が飛び交いながらも終始和気あいあいムード。そんな雰囲気の中で、リーダーの中野静枝さん(栃原)が微笑みながらの「ものごうなってきた」という言葉が印象的でした。というのも、そうおっしゃりながらもどこか静かな自信が伝わってきたからです。

その中野さんを中心に会員8名。「若鮎グループ加工部」が立ち上がったのは平成11年、その5年後には福井県初の女性による企業組合として法人化されました。初めは野菜市からの出発でしたが、さらに地元野菜を加工することで本格的な動きとなり、今では、木葉寿司、キャロムー、からしなす、あずき



「オカッテイイベント」で食べてもらいます

でっちな商品数も増えました。地元のメイトや、れんげの里、またスーパーなどあちこちで購入できます。お客様の「うまかったのう」「もっとちょうだい」の一言がグループの原動力となっています。

昔ながらの郷土料理が失われつつある今、作り続ける誰かが必要と始められたのですが、今や、大企業からオファーもくるようになりました。しかし、生産量が対応できないのが悔しいとのことでした。

夢は、町内にあるいくつかのお母さん方のグループが、いつか合わさって、もっと大きなグループとなり、一つの企業として育っていくといいなあとのことでした。大きな工場ができれば、若い人にも雇用が生まれ、後を継いでもらえます、町の発展にもつながります。

「若鮎グループ加工部」をみなさんで応援しましょう。そうすれば夢は必ず叶います。実際いろいろ試食させていただき、どれもこれもおいしく(「ごちそうさん」でした)、商品力は抜群です。今後の大化けは請け合います。気持ちは「若鮎ピチピチ」で頑張ってください。(松川&長岡)



打ち合わせ会の様子(右端がリーダーの中野さん)

### 編集者のひと言

この議会だよりが発行される頃、町長選挙のムードがそろそろ高まっているのではないかと予測されますが、8年ぶりの町長選挙となります。合併してからも8年です。新永平寺町を振り返るにはいいチャンスです。

私共は議会にいる人間ですから、候補者がある程度近くで見えますのでそれなりの判断ができますが、どうも一般住民にはそれが余り見えていないらしい。そういうことをおっしゃる方が多いですが、怖い話です。そして私共にとって反省しなければならぬ話でもあります。情報を発信する議会だよりをもっと頑張らなければと初心に帰るしかありません。

議会だよりそのものが紙のムダとか予算のムダ使いと言われる方もいますが、そう言われないうち読まれる議会だよりにするしかありません。年頭に当たり一層のご鞭撻をお願いするものです。(松川 記)

#### 議会広報特別委員会委員

- 委員長 波邊 善春
  - 副委員長 松川 正樹
  - 委員 小畑 博・長岡千恵子
  - 川治 孝行・川崎直文
  - 長谷川 治人
- 発行責任者 伊藤 博夫